

2025 年 11 月9日設立 22 周年感謝礼拝

日本同盟基督教団クリスチャンプレイズチャーチ

【アドラム共同体への神の恵み】

説教者: 鄭南哲主任牧師

聖書箇所: サムエル記第一(1Samuel)22 章1~5節

(Rev.Jung namchul)

愛する CPC 信仰の家族みなさん!この一週間もお変わりなくお過ごしでしょうか。朝晩冷えて来ています。願わくは今日からの一週間も風邪ひかないように、みなさんの生活の営みが守られ、日々の健康と主の平安を心よりお祈り申し上げます。本日はクリスチャンプレイズチャーチ設立22周年感謝礼拝としてお献げいたします。教会家族のみなさん!教会設立22周年、心よりお祝い申し上げます!

この一年も、ここまで牧師を支えて一緒に教会全体の運営の為に一緒に 労して下さいの役員たちの尊い存在!毎週牧場家族の為に祈りつつ、いつも献身的に牧場家族の為に惜しまず愛を注ぎ出し、仕え続けて下さる江南牧場、あおひら牧場、ひかり牧場、常滑牧場、いこいの牧場、三重牧場の牧者たちの 尊い犠牲と献身!子どもたちへの信仰継承と成長の為に毎週 CS 学校アワナクラブで献身的に仕え続けて下さっている先生たちの尊い愛!教会家族の為にいつもかげで礼拝後の昼食や水曜夕食を準備して下さいの兄弟姉妹たちの愛のご労!教会で子どもはじめ、みんなが安心して使えるように教会堂、トイレなど掃除に協力して下さいの方々と毎週の礼拝の為に賛美や奏楽、献金の祈り、受付、セッティングなど奉仕して下さる方々など、いつも尊い愛とご奉仕を覚えると、改めて教会家族皆様に深く感謝致します。主から送られた愛する教会家族お一人お一人の尊い存在に感謝し、主の大きい報いと祝福をお祈りいたします!

<聖書本文>

1. 教会は誰のために存在するのか:アドラムに集ったいた人々のように我らも色々な傷ついたところがあり、助けを必要とされる存在である。

アドラム:傷ついた者を集めて避け所のような共同体であった。

サウルを避けてダビデはアドラムの洞窟に身を隠します(サム上 22:1)。しかしその洞は、やがて単なる避難所を越えて人々が集まる場所となりました。「苦悩する者、負債のある者、不満を抱く者」がおおよそ400人も集まったのです(22:2)。神の国は「欠点のある人をふるい落とす場」ではなく、「傷ついた人を抱き起こす場」から始まります。今日、私たちの教会は誰を中心に据えているでしょうか。神は苦難・負債・不満を抱く者を集め(22:2)、ケアされ、御言葉への従順を通して使命共同体へと形づくられる(22:3-5)。

2. 避難所から共同体へ(22:1-2)

- ・ 誰が集まったのか: 社会的・経済的・情緒的に傷ついた人々。
- ・ 神のまなざし: イエスが「疲れた者、重荷を負う者」を招かれたように(マタ 11:28)、神はアドラムの傷ついた者たちを新しい御業の資源として用いられる。
- ・ 教会共同体は「完璧な人を集めること」ではなく、「傷ついた人の避難所となっていくこと」
- ・ 適用: 初めて来る人に伝わるのは歓待か、それとも審査か。来会者に「あなたは歓迎されています」と響くよう、「アドラム歓迎原則」(歓迎・ともに食事・ニーズ把握・祈りをもって待ち望むと神の力を得る同伴)を整

える。

3. ケアされ、癒される回復の共同体へ(22:3-4)

ダビデは両親をモアブの王に託して守りを求め、「神が私にどうされるかを知るまで」待ちます。

リーダーシップの優先順位は成果よりも**人の安全**であり、霊的リズムは不確実の中で**待つ信仰**です。

- ・ **適用質問**: 私のリーダーシップは、仕事を「速く」片づける力か、それとも人を「最後まで守る」責任か。
- ・ **実践**: 家庭・セル・チームに「弱い者優先の保護」原則を設け、今週一人の安全と回復のために具体策(相談連携、医療・金融支援、情緒的サポート)を取ろう。

4. 安住より召し(使命の共同体へ):御言葉に従って移動(22:5)

預言者ガドは言います。「要塞に留まらず、ユダの地へ行け。」ダビデは安全な洞窟を離れ、

ヘレトの荒野へ向かいます。御言葉は、慣れた安全地帯から行くべき場所へと私たちを導きます。

- ・ **方向性**: 維持ではなく派遣。洞窟は一時の宿であり、永住の地ではない。
- ・ **適用**: 構造を「受け入れる(Receive)→ ケア(Care)→ 送り出す(Send)」へ再編。四半期ごとに「洞窟から出る週間」を定め、奉仕・宣教・慈善プロジェクトで**実際に動く習慣**をつくろう。

5. 結論 — 逃げ場が癒しと回復の共同体となり、そこでとどまらず、使命共同体になっていく

アドラムの洞窟は逃亡者の避難所でしたが、神の御手に握られると**使命共同体のゆりかご**になります。私たちにも隠れたくなる洞があります。しかし神は、そこで人を集め、ケアを委ね、ついには御言葉に従って歩まさせていただきます。① 傷ついた者は共同体の核となる**資源**。② 真のリーダーシップは**人の保護**で証明される。③ **安全より御言葉優先**。

6. 決断の祈り

1. 主よ、アドラムで集まっていた人たちのように苦しんでいる人々を**歓待する教会共同体、家の教会の牧場**としてください。
2. お互いの弱さ、傷が支えられ、愛され、ケアされて癒される教会と牧場となるようにしてください。
3. 御言葉に従い、留まっていた洞窟で安住するのではなく、神様からの**使命の場**へと進ませてください。

7. 個人の黙想箇所

- ・ 詩編 57 篇・142 篇(伝統的にダビデの洞窟体験と関連づけ)
- ・ マタイ 11:28、マルコ 2:17、使徒 2 章